



最後の預言者ムハンマ  
ドによる人類への別れ  
の言葉





## 最後の預言者ムハンマドによる人類への別れの言葉



最後の預言者、即ち預言者の封印であるムハンマドは、その短い生涯の終わりに、多くの仲間とともにメッカへと旅立った。イスラームの5つの柱のうちの1つである、巡礼(ハッジ)を行うためである。そして巡礼の中、632年3月8日、アラファトの山上で、約12万4千人のムスリムを前に演説を行った。これはかの有名な預言者の別れの言葉であり、裁きの日まで人類を導くこととなる、普遍的な人権宣言のようなものである。



## 『別れの説教』より：



「すべての称賛と感謝は、アッラーのものである。」我々は、アッラーを讃え、アッラーに助けを求め、赦しを求め、アッラー唯独りに心を向ける。我々は、自らの我欲や罪深い行いといった悪から遠のくよう、アッラーに庇護を求める。私は、アッラーの他に崇拜に値する神は存在しないことを証言し、ムハンマドがアッラーのしもべであり、使者であることを証言する。

アッラーのしもべたちよ。アッラーのしもべたちよ、私はあなたたちに、アッラーを畏れ、アッラーに服従し、屈服することを勧める。こうして私は、みなにいくつかの助言をしたい。

人々よ。私の言葉に耳を傾けよ。ともすると来年には、我々はこの世から永遠に旅立つかもしれない。

人々よ。祝福された日(アラファの日)のように、祝福された月(ズウ・アル・ヒッジヤ)のように、祝福された都市(メッカ)のように、あなた方の生命、財産、純潔は、同様に祝



福され、不可侵であり、いかなる攻撃からも守られる。

我が仲間たちよ。明日、あなた方は主にお会いし、今日行ったこと責任を問われるだろう。

我が仲間たちよ。借りたものは持ち主に返さなければならない。その仲介のために預かったものも、持ち主に返さなければならない。借金は返さなければならない。誰かの借金を請け負った保証人も、その借金を払わなければならない。何かを預かっている人間は、誰であろうとその持ち主に返すべきである。あなたの主であるアッラーを畏れ、彼に仕えなさい。日に5回の祈りを確実に行いなさい。ラマダーン月には断食し、ハッジを行い、善良な心で自分の財物のザカート(義務による施し)を与えなさい。統治者がアッラーの神聖な書物に従っている限り、統治者に従いなさい。そうすれ



ば、あなたの主の楽園に入ることが出来るだろう。

我が仲間たちよ。あらゆる種類の利息は取り除かれた。今や私の足元ほどの価値もない。しかし、元の債務は返さなければならぬ。抑圧してはならないし、抑圧されてもならない。高利貸しは、アッラーの命令で禁止されている。無明時代から引き継がれてきたこのような醜い習慣のすべては、私の足元ほどの価値もない。私が最初に取り除く利子は、アブドゥル・ムッタリブの息子である、我が叔父アッバースの利子である。無明時代に存在した血縁関係は、すべて取り除かれた。私を取り去った最初の血縁関係は、アブドゥルムッタリブの孫娘である、ラビーアの血縁関係である。無明時代から続く、メッカの街に関する政府の義務は廃された。ただし、カアバの守護



と巡礼者に水を配る奉仕はその対象外である。

人々よ。今日を以って、悪魔はあなたがたの国を再び支配する力を永遠に失った。しかしながら、私が禁じたものは別として、あなた方が小さなことであると思われることであっても彼に従うならば、それは彼を喜ばせることになる。自分の宗教を守るために、これらを避けなさい。

人々よ。女性の権利を尊重し、この点でアッラーを恐れるように助言する。あなた方は、女性をアッラーからの信託として受け取り、アッラーの名の下に約束(結婚)をすることで、女性の良識をハラール(許されるもの)としたのである!女性は、あなた方と同じように、あなた方に対する権利を持っている。あなたが女性に対して権利を持つ



ているように、女性もあなたに対して権利を持っているのだ。女性に対するあなたの権利は、女性が貞節を守ることと、あなたが同意しない者をあなたの許可なくして(あなたの寝床を踏みにじらせてはならない)ことです。また、女性もまたあなたに対する権利を持っている。合理的でよく知られた手段の範囲内で、彼女たちに衣食住を提供するのはあなたの義務である。女性には最善の方法で接しなさい。

真の信者たちよ。私の言葉をよく聞き、決して忘れるな。一人のムスリムは他のムスリムの兄弟であり、それゆえすべてのムスリムは兄弟である。信仰する兄弟に存する権利に干渉することは、ハラールではない。ただし、その者が自らそれを望んだ場合は例外である。

我が仲間たちよ。自らをも苦しめてはなりません。あなたの自我もあなたに対して権利を持っているのである。誰もが自分自身の罪に責任を負うのみである。父も子も、互いの罪に責任を持つことはできないのだ。

私の後に再び過去の墮落へと転じ、互いに首を取り合うようなことは絶対にしてはならない。私はあなた方に、あなた方がしっかりと握っている限り、道を踏み外すことのないようなものを残す。その信託とは、アッラーの神聖な書物である聖クルアーン、そして預言者のスンナである。この場にい

る人々は、私の遺言をこの場にいない者どもに伝えなさい。伝えられた人は、私と共にここにいた人よりもよりよく理解し、それを守って生きていくことができるかもしれない。

人びとよ。あなた方には、一の主と一人の祖先がいる。あなた方は皆、アダムの子孫であり、アダムは塵から創られた。アッラーの前で最も尊敬され、価値があるのは、自分の責任を最もよく理解し、タクワー（アッラーへの深い畏敬の念）を持つ者である。アラブ人は非アラブ人に対し、何の優位性もない。また、非アラブ人はアラブ人よりも優位に立つことはない。白い肌の人が黒い肌の人に優ることはないし、他の者も同じである。だれが優れているかは、アッラーに対する尊敬の念の大きさによってのみ計られる。

この後、預言者は言われた。「明日、この場に居ない人々は、私について尋ねるであろう。お前たちはどう答えるのか。」教友らは、「我々は、あなたがアッラーの預言を伝え、預言者としての使命を果たし、あなたの意志と助言とを我々に与えてくださったことを証言します。預言者ムハンマドは、人差し指を天に向け、このように言われた。「我が主よ、証人となりたまえ。主よ、証人となりたまえ。我が証人となりたまえ！」





連絡先  
宗務庁  
宗教出版本部

Diyanet İşleri Başkanlığı  
Dini Yayınlar Genel Müdürlüğü  
Yabancı Dil ve Lehçelerde Yayınlar Daire Başkanlığı

Üniversiteler Mah. Dumlupınar Bulvarı  
No:147/A 06800 Çankaya-ANKARA/TÜRKİYE

Tel : +90 312 295 72 81

Fax : +90 312 284 72 88

e-mail: yabancidiller@diyanet.gov.tr

SON PEYGAMBER HZ MUHAMMEDİN (S.A.S.)  
İNSANLIĞA SESLENİŞİ

**JAPONCA**